

エコフレンドリーオフィスプラン通信

第8号
発行日：令和6年7月16日
発行元：環境政策課
責任者：課長 江村 俊彰



山口市役所の温室効果ガス排出抑制に係る対策を具体的に実行するための計画である「第二次山口市エコフレンドリーオフィスプラン改定版」で定めた令和5年度の温室効果ガス排出量の削減目標は、皆様のご協力のもと達成することができました。



令和5年度の実績結果

令和5年度の削減目標	実績結果
平成25年度比で28%以上	32.7%削減

令和6年度マネジメントレビュー（環境管理統括者からの指示及び対応）

「令和6年度山口市環境管理委員会」において、環境管理統括者（市長）からマネジメントレビュー（市長からのプラン見直し指示）が、下記の通り示されました。

1 環境方針について

第二次エコフレンドリーオフィスプラン改定版における環境方針に基づく事務事業の推進に努めること。

2 取組目標について

2050年ゼロカーボンシティ実現を見据え、第二次エコフレンドリーオフィスプラン改定版における温室効果ガス排出量の削減目標達成に向け、3つの環境方針（「省エネルギー等の推進」、「再生可能エネルギー等の導入推進」、「脱炭素なまちづくりの推進」）の下、同プランに示されている重点項目を各所属の重点取組項目とするなど、各所属で設定した独自の取組の積極的な推進を図ること。

3 プランに関するその他の要素について

職員一人ひとりが、環境負荷の低減や地球温暖化問題への理解を深めるとともに、日々の業務の中で、脱炭素につながる豊かな暮らしを創る新たな国民運動「デコ活」の取組を積極的に実行すること。

マネジメントレビューへの対応として、下記の点について取組を進めましょう。

1 環境方針について

職員研修や職場研修等を通じて、改定された環境方針を始めとするプランの内容の周知徹底を図り、同方針に基づく事務事業の推進に努めましょう。

2 取組目標について

全庁共通の環境配慮項目の周知や実践に加えて、各所属で設定した重点取組項目などの独自の取組の積極的な推進を図りましょう。とりわけ、市施設への再生可能エネルギー設備や蓄電池、省エネ設備・機器の導入に向けた取組のほか、令和6年4月に設立した地域新電力会社「山口グリーンエネルギー株式会社」が令和7年1月以降に供給開始を予定している清掃工場の廃棄物発電の電力利用に向けた取組などの推進に努めましょう。

また、各所属において、プランに掲げる共通の環境配慮項目を共有した上で、各所属の業務の特性に応じた目標を設定するなど、職員一人ひとりの環境意識の向上に向けた取組を実施しましょう。

3 プランに関するその他の要素について

職員研修や、本市におけるデコ活の周知啓発の取組を通じて、職員一人ひとりが環境負荷の低減や地球温暖化問題に対する理解を深め、環境への意識向上やデコ活の実践に努めましょう。

「COOL CHOICE」は「デコ活」へチェンジしました！

本市では、令和6年1月にデコ活宣言を行い、デコ活を通じて、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいます。

デコ活とは、暮らしを豊かにしながら、「CO₂を減らす・環境にやさしい活動」のことです。「もっと節電しなければ」などと我慢するのではなく、環境にやさしい商品・サービスを取り入れることで、脱炭素なのに快適で健康的な生活を実現していこうという取組です。

省エネ機器に買い替える、エコドライブする、食材の地産地消に取り組むなど、身近な生活の中ではもちろん、職場でも、未来のために今できるデコ活を実践していきましょう。



デコ活の詳細はこちら →



環境政策課のSNSも
チェックしてみてください →



Facebook



Instagram